

みんなで語ろう会

ニュースレターNO.46 2016年8月発行

2016年7月20日に第52回“みんなで語ろう会”を開催しました。体験者15名(男性5名、女性10名)、ご家族1名(女性1名)、合計16名と沢山の方にご参加いただきました。がんと告知されたときの気持ちや抗がん剤の副作用、病気との向き合い方など、色々なテーマで語りあいました。リオ五輪を前に「東京五輪の開会式を観るのが目標」という方もいらして、時節を感じる会でもありました。



サロンの3つの約束

- ・自分のことは自分の言葉で話す事
 - ・他の方のお話は評価しないで聞く事
 - ・サロンでのお話はサロン以外では話さない事
- をお話したあと、各自自己紹介をし、様々なテーマに沿って自由に話をしました。そんな皆さんのお話をいくつかご紹介します。

○自分は手術後の病理検査の結果を主治医の口頭でしか聞いていないが、人によっては検査結果を紙媒体でもらえる人もいるらしい。実際みなさんはどうなのだろうか。

○愕下リンパ節を郭清したので、低気圧が来ると患部がぎゅーっと締め付けられるようになることがある。

○口腔の機能がいかに大切かを知りました。舌の先をほんの少し切除しただけなのに、こんなにもおしゃべりに支障が出たり、食べることに支障が出るとおもわなかった。

○妻と話していると、だんだん深刻になってしまったり、またケンカになったりしてしまう。ここで同じがん患者同士、同じ悩みを持つ者同士、笑いながら話できるのがうれしい。

○今一番の悩みは抗がん剤の副作用。足の裏の感覚がおかしく、まるで玉砂利の上を歩いているようだ。

○治療中は治療自体が忙しく進み、気持ちも落ち込んでいたので自分の病気と向きあう余裕がなかった。治療後少し落ち着いてきて、自分のかかったがんのこと、副作用のことを知りたいと思うようになった。ここでみなさんから貴重な意見を伺えてありがたい。

○自分よりも大変な症状の方が、明るくお話をされているのを見ると、自分も外に向かっていたかなければと思う。

○がんにかかったことのショックや、抗がん剤の副作用、術後の後遺症など色々つらい事はあるけど、長くがんと付き合っていると、色々工夫しながら生きていけるものです。

スタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 日時: 毎月・第3水曜日 13時～15時
2016年 8月17日(水)
9月21日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます。
(申込みは不要です。参加費は無料です。)